

西尾市事務評価シート

事務No.	01-031	事務内容	市政65周年関係				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成29年度		担当課名	企画政策課
予算科目	02款	01項	06目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (4 6 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市制施行65周年という節目の年にあたる慶事を市民とともに祝う。
事務の対象 (誰(何)のために)	市制施行65周年という節目の年にあたる慶事を市民と祝うとともに、今後の西尾市の発展を祈念するため。
事務の概要 (具体的に何を)	NHK公開収録番組の実施に向けた準備・調整及び65周年を記念して実施される事業に対し「西尾市制65周年記念事業」の名称使用取扱要領の制定。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	814,600円	
人 工	0.0人	0.0人	0.2人	
人 件 費 ②	0円	0円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	2,252,582円	
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	2,252,582円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	周年事業でH30年度のみのため			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)					
	具体的な指標	市制65周年を記念した公開収録番組等の誘致・実施				
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		0 個		0 個		1 個
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)					
	具体的な指標	公開収録番組への参加者数				
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		0 人		0 人		1,000 人
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		2,252,582円

●事業の終期

事務No. 01-031

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性	市が実施することが適切であるか		4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3	効率性	事務時間は適切なものになっているか	4
	妥当性	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4	公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3	公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
	評価の総合的なコメント		事業の趣旨や目的、実施方法から、周年事業を実施すること自体は適切であるが、内容等については精査していく必要がある。			
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	周年事業の周期を5年毎から10年毎での実施に変更を検討していく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市民参加型の企画等を実施しているため、今後も同様の考えで継続していく。					
事務全体の課題	財政状況が厳しい折、5年毎に大規模な周年事業を実施することが困難になってきている。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	岡崎市：100周年（H28年度、25,903千円）、碧南市：70周年（H30年度、550千円）、豊田市：60周年（H22年度、5,266千円）、安城市：60周年（H24年度、2,904千円）、刈谷市：60周年（H22年度、5,149千円）
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	社会情勢や財政状況等を総合的に鑑み、周年事業の10年毎での実施を検討していく。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、実施サイクルの見直しを検討するなど効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	01-034	事務内容	部内・課内とりまとめ（上記以外の部内取りまとめなどの庶務）				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	不明		担当課名	企画政策課
予算科目	02款	01項	06目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (4 6 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	情報提供
事務の対象 (誰(何)のために)	職員
事務の概要 (具体的に何を)	職員へ各課からの情報を知らせる。課内・部内の情報を取りまとめ、関係課又は部に伝える。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 01-034

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	課内処理として必要な事務のため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		4	事務時間は適切なものになっているか		4	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		3	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		4	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント	課内の処理としては何も問題ありません。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	視点を間違えました。課内の処理としては何も問題ありません。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事務全体の課題	課内の処理としては問題ない。市役所全体では、文書取扱主任宛の文書の中に、各課からのお知らせ等でよいと思われる文書が散見される。今一度文書の取扱を徹底する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	なし
---------------	----

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	課内の処理としては問題ない。市役所全体では、文書取扱主任にあがる文書の中に、各課からのお知らせ等でよいと思われる文書が散見される。今一度文書の取扱を徹底する必要がある。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	01-040	事務内容	「西尾の統計」				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	不明		担当課名	企画政策課
予算科目	02款	05項	01目	大事業	02		
事務事業名 (中事業名)	統計事務 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市政及びその推移と現況を明らかにする。
事務の対象 (誰(何)のために)	市民・企業等
事務の概要 (具体的に何を)	西尾市の人口・経済・福祉・教育など各分野にわたる西尾市の現状を示す基本的資料を総合的に収録。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	17,000円	17,000円	16,696円
人 工	0.2人	0.2人	0.2人
人 件 費 ②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円
総事務費③(①+②)	1,431,597円	1,437,922円	1,454,678円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	1,431,597円	1,437,922円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	6,325円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.44%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	消耗品費	色上質200枚、上質紙7箱	17,096円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	各種統計作成					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		71,580円		71,896円		72,734円	

●事業の終期

事務No. 01-040

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	経年比較ができるように、継続する必要がある。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	概ね適正に遂行している。西尾の統計のニーズはある。西尾の統計があることによって、他課職員からの統計資料について問い合わせが少なくなっている。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	住民の方で希望する方には今までどおり冊子での提供とするが、議員や部長へは紙ベースでの資料提供から、電子媒体での資料提供へ移行したい。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	冊子作成を依頼する方法もあるが、コストが高くなる。					
事務全体の課題	関係課に入力をお願いする際に、ミスをなくすためにどのようになげかけるのが効果的なのか考える必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	各市の統計は、近隣市全て実施。
---------------	-----------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	人件費や消耗品費の削減のために、議員や部長に配布している冊子のくろみ表紙の廃止又は紙での配布をやめデータでの提供のみとする。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	配布方法を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---------------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	01-050	事務内容	各種調査関係				
総合計画施策コード	---	事務開始年度	不明		担当課名	企画政策課	
予算科目	02款	01項	06目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	行財政改革推進事務 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	国や県が政策決定や各市町の取組状況を集約するための市町村への調査依頼に対して回答をするため。
事務の対象 (誰(何)のために)	国や県及び各市町
事務の概要 (具体的に何を)	国や県から調査依頼があった場合、必要な情報を調査し回答する。例として、行財政改革に関する取組や、指定管理に関する状況調査などがある。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	調査の件数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		8 件		10 件		10 件	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		88,412円		71,046円		71,899円	

●事業の終期

事務No. 01-050

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	毎年
事務の終了時期が未定の場合の理由	国や県からの調査はなくなることはないと思われるため終了時期は未定。ただし、調査の方法は毎年見直す必要がある。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	国県からの調査依頼により実施する受動的な事務であるため有効性に問題があると評価した。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	事務の拡大縮小に関しては国県からの調査次第であるため現行どおり進めるが、効率よく回答する方法や集約した情報を生かすよう考えていきたい。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	国・県からの調査であるため民間委託等は不可と考える。					
事務全体の課題	調査内容が複数の課で実施している事業であったり、調査項目が大きなくくりで明確でないことから年ごとの調査の回答について整合性が取れないことがある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	国・県からの調査は全市町村を対象としているため同様に実施している。
---------------	-----------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	国・県からの調査は、毎年実施されるため、市全体のことを考えるべき企画政策課としては他課の事務等の取組状況を把握する良い機会と考え、効率の良い調査方法を毎年見直し、回答結果を今後に生かすことを考える必要がある。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他課への照会は効率的な方法となるように努めていただきたい。
----------	-------------------------------